



2014.3.2 フィリピン台風被害支援ミニバザー

衣を裂くのではなく、お前たちの心を引き裂け。」

(ヨエル 2・13)

助任司祭フック神父

三月五日の灰の水曜日をもって今年の四旬節も始まりました。灰の式では司式者は灰の祝福をして、一人ひとりの頭か額に灰をかけながら、「あなたは塵であり、塵に帰つていくのです」か、それとも「回心して福音を信じなさい」か、どちらかを選択して唱えます。この灰の式では、若者男女、社会の身分、人種や国籍を問わずに、司式者自身も例外なく、自分で灰をつけるか、誰かに掛けてもらうか、皆は同じ形式で回心のしるしとして灰を受けるわけです。つまり、回心が必要としない者は一人もいないということです。

旧約時代から、回心のしるしとして灰はよく用いられました。ユダヤ人たちは神に立ち返り、回心の心を表すために、灰を頭に掛けたり、灰の上に座ったり、回心の心を粗布をまとったり、自分の衣を裂いたりしました。預言者ヨナと二ネベ町の回心という旧約聖書の物語がよく知られています。主の命令でヨナは非常に大きな都である二ネベに行つて、三日をかけて町全体を歩きながら、叫びました。「あと四十日すれば、二ネベの都は滅びる。すると、二ネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、自分の高い者も低い者も身に粗布をまとった。このことが二ネベの王に伝えられると、王は王座から立ち上がって王衣を脱ぎ捨て、粗布をまとって灰の上に座しました。結果としては「神は彼らの業、彼らが悪の道を離れたことを御覧になり、思い直され、宣告した災いをくだすのをやめられた(ヨナ3・10)」のです。

灰を受けたら、衣を裂いたりする本人はただ回心を表明するだけではなく、自分の人生が塵で創られ、必ずいつか塵に戻るということを認識しています。そういつた意味深いこの行いは時間がたつにつれて、単なる外的形式になつてしまいましたが、そのために、預言者ヨエルは人々に「衣を裂くのではなく、お前たちの心を引き裂け」と呼びかけました。キリスト者のわたしたちも、この意味深い習慣として灰を受けます。頭か額かに灰を受けますが、その受けた灰を自分の傲慢な心までに届け、灰と病の心に接することによって痛み、血の流れが生じることは確かなのです。しかし、そうすることによって心の「傲慢さ」が取り除かれて、元気な心を取り戻されるでしょう。

これから始まる四十日間の四旬節を嘆き悲しむ時、自分を責める時より、神と隣人との関係を見直す「恵みの時」として過ごすことができるよう祈りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分(4月よりは、午後5時)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

堅信おめでとうございます



洗礼者ヨハネ 赤尾勇司
マリア 池内天音
使徒ヨハネ 柿崎輝彦
フランシスコザビエル 河原傑
クリストファー ガニエ クリストファー正志
マリア 角田のあ
グラチア 玉田明里
使徒ヨハネ 内藤聡
ロバート 中村誓七
ヨゼフ・ベネディク 福井五郎

ヨゼフ 吉武直
アシジのフランチェスコ 早川レオン海月
ベロニカ 安達道子
ヨセフ 早川和浩
カテリーナ 岩村朋子
マリア・ローザ 久保志保美
クララ 野々垣礼子
アントニオ 森直樹
マルタ 井爪敬子



堅信式の感想

堅信を受けて

マリヤ・ローザ久保志保美
堅信式を無事に終え、神に感謝しております。

私は一年半の間、ずっと走っていたような感覚がしていました。

一昨年の夫の死、昨年の洗礼、今回の堅信と、あつという間でした。

南山教会とのご縁が、又神父様、代母様、先輩方とのつながりが、私にとって心強いなぐさめになっております。これも神のお恵みなんですね。

私は、今後「笑顔」と「感謝」という二つの言葉を胸に、ゆつくりと歩んで行こうと思っております。

神のお導きのままに。
今回は、どうもありがとうございました。

堅信勉強会

使徒ヨハネ柿崎輝彦

そもそも堅信とは何なのか？そこからスタートしました。初聖体もやったのにまたなにかあるぞ。と思った。教科書が前より厚かったから今度はもつとくわしくやると思ったが、それは一体なんだったのか。
まず、初聖体では、ゆるしの

秘跡の受け方、ご聖体のもらい方などを教わりましたが、堅信の勉強では、さらに、それがあるとどうなるか、どういう意味があるのかということ、くわしく勉強しました。つまり、この差が教科書にも出ていたので

また、これらをなぜ勉強したかを考えてみました。

初聖体では、教会において、やらなければならぬことを勉強して、キリスト教の意味を知ることができた。つまり、キリスト教になるために勉強していることになりました。

堅信は、さらにくわしく勉強して、教会でしなればならぬことをなぜするのか、という意味を知りました。つまり、キリスト教の本質を理解するため勉強し、そして一生クリスチャンとなるためにも勉強していたのです。特に集中的にやっていたのが、「父と子と聖霊」です。三つ合わせて三位一体でした。その中でも「聖霊」という言葉は、何回も出てきました。

このことから、僕が堅信の勉強をして、一番重要なのは「聖霊」ということがわかりました。目には見えないけれど、火、風、鳩など、身近なところにあります。また、聖霊を通して、神様と通じ合うことができます。

堅信とは、この聖霊が降りることです。それを受け入れるために、勉強をしてきたのだと思います。

堅信を受けて

グラチア玉田明里

この三カ月、堅信の勉強を続けてきました。それまでは神様のことを本当に深く考えたことはありません。けれども勉強やミサを通じてキリスト教のより深い知識、守るべきこと、神様の愛についてしつかり学ぶことができました。そしてこの勉強

会を通じて知り合えた神父様、シスター、代母の方には私にとつて大きな神様からのお恵みだと思っております。

これからは教会の皆様を支えられて、イエス様と共に歩んでゆきたいと思えます。

堅信を受けて

ヨゼフ・ベネディクト福井五郎

二月二十三日に僕は南山教会にて堅信の秘跡を受けました。僕の代父は伊藤恭輔さんで、霊名が僕と同じベネディクトです。洗礼式の時も代父をして下さいました。教会学校のリーダーもなさっています。

僕が三カ月間に及ぶ堅信の勉強で感じたことは「聖霊」です。実際、堅信は聖霊の賜物で

すが、三位一体の一つでもありません。聖霊を感じる、ということとは僕はまだありませんが、いつか聖霊を感じたいです。特に聖霊の実である「寛容」。

僕は堅信の勉強をする上で、毎週日曜日、部活動を休みました。

しかし、部活を休むことで仲間には差がつきそうで恐れていましたが、やはり堅信はキリスト教徒にとって重要な秘跡なので、平日と土曜日に部活に精進して日曜日はイエス様と向き合う、という生活を続けました。

堅信式当日、僕はとても緊張していましたが、イエス様や聖霊が出てきていると思うと、勇気が出てきました。祭壇の上で誓いの言葉を唱えている時、僕はイエス様への信仰が強くなっていく気がしました。そして、ミサが終わった後は清々しい気持ちでした。これから僕はキリスト教徒として生きていくんだ、という決意をしました。

堅信を受けるにつき、協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

堅信式を終えて

マリヤ池内天音

私が堅信式を行って思ったことは、大変だったり、勉強がキツかったりとマイナス面もあり

ますが、キリスト教徒への第一歩につながったり、いつものミサよりもまた違って見えたりとプラス面もあります。

実は、私は正直に言うのと、ミサの内容やキリスト教としての知識、考えが少し重いのではなにかとずっと思っていました。でもそれは、まだキリスト教を全て理解していないことだと思います。なので、この堅信式をきっかけに、もっとカトリックのことや、神様のことを深く信仰していこうと思います。

まずは、毎日の祈り、毎日の感謝が必要だと思えます。毎日、神様の前で祈り、心を清めることが大切です。そして、毎日、神様・親・友達に感謝し、過ごしていくことが大切です。次にミサに行くことが必要だと思えます。ミサに行くと、改めて、自分の行動の見直しや、今までの考えが変わってききます。なのでミサに行くことが大切です。

このようなことをしていくことが本当の信仰と言えるのではないかと思います。

そして、私は、今回の堅信式にたずさわっていた方々全員に感謝します。勉強を教えて下さった神父様、シスターに感謝します。

今回の堅信式に一緒に出て下

さった代母の方々、堅信式をして下さった神父様方に感謝します。また、堅信式を温かく見守って下さった信者の皆様に感謝します。そして、家族に感謝します。本当に、ありがとうございます。

講演会 中高生保護者会

2月9日に聖カピタニオ女子高等学校の大窪順子シスターをお招きし「どんな人になりたいですか？」というテーマで講演いただきました。

シスターは創世記を引用され、あるがままの存在そのものが良い。何が出来るから良いというのではないという「人間の尊厳」についてわかりやすくお話しくださいました。大人には、無条件に子どもを愛し育てることを。子ども達には、自分自身を好きになることが大切とお話しされました。神様との関係が深まるようにとのご講演に、深く感謝いたします。





主任司祭 B・ノヴァク神父

1・洗礼

キリスト教は、「洗礼」という言葉をユダヤ教から、そのまま、借りていますし、教会の秘跡としての洗礼式とユダヤ教の一つの儀式として洗礼者ヨハネが授けた洗礼式とは、表面的に似ていますので、両方とも同じものであると思っ

ている人が大勢いるようです。キリスト教の洗礼式の意味を理解するために、まず、この二つの洗礼式の違いをはっきりと意識する必要があります。思います。

この清めについて教えたこと（マタ23・25・28）を、人間の清めに当てはめることができます。つまり、このような儀式によって外側、つまり人間の体が洗われても、内側、つまり人間の心は、そのままです。人間の心に変化が起こるかどうかということ、清めの式にあずかることによって表した自分の決心を実行するかどうか、ということにかかっています。

新約聖書の言語であるギリシャ語では、「洗礼」のことを「バプティスマ」と言います。また、「洗礼を授ける」とことは「バプティゾー」と言います。それは、元来「浸す」、または「沈める」、

「洗う」という意味です。この言葉とおりに、洗礼者ヨハネは、自分のもとに来た人々をヨルダン川の中に浸したのです。それは、ユダヤ教の中で行われた様々な宗教的な清めの儀式の一つでした。この儀式にあずかった人は、自分の罪を清めていたきたい、

秘跡としての洗礼は、洗礼者ヨハネの悔い改めの洗礼とまったく異なります。まず、秘跡は、イエス・キリストご自身の働きです。この秘跡を受ける人は、この秘跡が表す恩恵を必ず与えられま

すし、この人の心の本質的な変化が起こるのです。この違いを表すために、洗礼者ヨハネは、次のように語りました。「わたしは、悔い改めに導くために、あなたたちに水で洗礼を授けているが、わたしの後から来る方は、わたしよりも優れておられる。わたしは、その履物をお脱がせする値打ちもない。その方は、聖霊と火であな

たに洗礼をお授けになる。」（マタ3・11）

す。洗礼式は、受洗者の悪霊の拒否と信仰宣言から始まります。それによって、受洗者は、罪や他の悪から完全に離れたいという意志、また、イエス・キリストに従うことによって、自分に信仰を与えてくださった神の呼びかけに応えたいという望みを表明すると同時に、この望みを実行するように全力を尽くして努めることを約束するのである。その後、洗礼を授ける人は、受洗者の頭に3度水を注ぎながら、または、受洗者を水中に3度浸しながら、次の言葉

を唱えます。「○○○○（受洗者の名前）さん、わたしは父と子と聖霊のみ名によって、あなたに洗礼を授けます。」聖書において、「名」は、本質を表すものです。三位一体の神の本質（愛、命）に、人を「浸す」とは、この人を神ご自身にささげることです。したがって、この言葉をもって洗礼を授ける人は、受洗者を三位一体の神に奉獻するわけです。神は、イエス・キリストがご自分の死と復活によって成し遂げてくださった救いの恵みをすべての人々に与えたい、つまり、すべての人々に

ご自分との愛の交わりに受け入れたいと望んでおられるからこそ、洗礼にとつてご自分にささげられ

た人を必ず受け入れられるのです。誰かが水に浸されたからとか、この人の頭の上に水が注がれたからではなく、神ご自身に受け入れられたから、神ご自身の愛と命に満たされたからこそ、神との交わりを持たない状態である罪から解放され、神の子として生まれ変わ

第6回運営委員会

司祭団より

2014年度行事予定確認。

運営委員会の開始時間を11時からにしてはどうか。教会周辺清掃は第2日曜日に移動させる。

事務の山森さんが3月末に退職され、榎原さんに引き継がれる。

報告事項

1 2月15日 第2回オルガン管理委員会議事報告について

パイプオルガンの修復について、日本人の2業者を検討し、望月オルガンに決定した。

望月オルガンの方が、作業人数が多く、ドイツで修業していた経験がある。

見積額は、453万6千円。

パイプオルガンを使用するに当たり、使用規定を作成した。

2 次年度各会委員名提出と確認について

新委員は4月6日9時半ミサ後に紹介と挨拶を行う

各会の役員を4月までに決定する。

3 納骨堂建設委員会より現状報告

毎週仮安置などに使用されており、ご家族からも評判がよく、有効活用されている。

1週間に1件の割合で申し込みにが続いている。

半田教会との合同となっている八事の納骨堂については、平針教会に管理が移管される。

3月4月で、現在残っている13体の南山教会納骨堂への改葬可否確認を終わらせ、5月目処で半田教会と平針教会に移管させる予定。

4 ヨセフ会次期役員報告について

・ヨセフ会時次期会長…水谷さん(7班) 副会長…安井さん(8班)

役員…横地さん(7班)、櫻井さん(8班)

5 3月1日・2日 フィリピン台風被害支援ミニバザーについて

沢山品物が集まり、販売もほぼ完売し盛況の内に終わった。

3月2日9時半ミサ終了時点で20万5百円の売上。

6 その他

青年会作成のTシャツについて購入希望のアンケートを準備中。

4月以降、新大学生が入って来てからアンケート、及び販売開始予定。

審議事項

1 南山教会2014年度行事予定の確認と検討について

教会美化の日をいつにするか、信徒全体集会開催日、避難訓練・救急講習会開催の是非など検討したい。

日程の確認が行われ、各所訂正があった。それ以外の申請は神父様、事務所まで。

2 四旬節と復活祭の典礼・祭儀・パーティー等の確認

典礼については例年通り。洗礼志願者は10名程度。

パーティーのご協力依頼の案内を3月末頃にお知らせに含める。

3 新年度運営委員会委員長の選任について

規約に則り委員長の立候補・推薦の確認と選任、主任司祭の

承認を得たい

泉氏からの推薦により、神戸氏が承認された。

4 パイプオルガン使用規定と使用申込書の内容確認について

使用規定案について、水谷さんから話があった。

使用規定及び使用申込み兼許可書について運営委員会にて審議し、仮承認を得た。

5月の全体集会時に使用規定を紹介し、本運用を開始する。オルガンの修繕について、募金を募ってはどうかという案が出た。

5 その他

ヨセフ会内規について変更部分について検討し、承認を得た。

ごミサ中の救急については、香部屋へ搬送する。

救急車が必要な時は、教会が主体性を持って行動すべきという意見が出た。

9時半のミサ時は案内係が対応。その他のミサ時には、いれ

ばヨセフ会が対応も可能。

各会報告
青年会

新入会者歓迎会

3月16日(日) 14時〜21時
中庭に集合し、ボウリング、
夕食等を予定しています。
対象は18歳以上の青年。

ボーイスカウト

BS名古屋第97団一泊野舎宮
3月29日(土) 30日(日)
カブスカウトはカトリック会
館にて舎宮、ボーイスカウト・
ベンチャースカウトは中庭にて
野宮。

次回は4月6日

運営委員長退任挨拶

泉 亨

運営委員会という組織が発足
した2005年から副委員長を
5年間、そして委員長を2期4
年間にわたり勤めさせて頂いた
き、今月末で新委員長に交代す
ることになりました。

これまでボクダン神父様をは
じめ司祭団の皆様、信徒の皆様
のご協力・ご理解のおかげで無
事その責務を全うできたことに
感謝いたします。

委員長としての4年間は長く
もあり、あつという間に過ぎて
しまつたようにも感じます。
その間の大きな出来事といえ

ば、ヨセフ会が男性信徒の組織
として非常に機能的に回るよう
になり、運営委員会の主要構成
団体として営繕委員会が発足
し、納骨堂の完成を見ることが
できました。

また、避難訓練や救急法講習
会の実施など、皆様の危機意識
の向上と緊急時の対応経験取得
に役立つ活動を行うことがで
きました。

私の性格として、リーダー
シップを取って皆様に率いると
いうことはできませんので、皆
様が教会で気持ちよく過ごすこ
とができるための場を提供する
ために努力してきたつもりで
す。

そのように変わってきたと少
しでも感じていただければ幸い
です。

4月からは新しい運営委員長
のもとで新しい運営委員会が動
き出します。私もそのメンバ
ーのひとりとして納骨堂管理委員
会で引き続き奉仕させて頂いた
ことになりましたが、信徒の皆
様一人ひとりが、ご自分のでき
る範囲で教会や運営委員会の諸
活動に少しでもご協力・ご参加
ただけますようお願いいたしま
して、退任の挨拶とさせて頂いた
きます。

どうもありがとうございます。

四木会十周年記念

二〇〇四年三月二十五日、神
のお告げの日(祭)に発足した
四木会、今は亡き故加藤迪春氏
の発案により毎月第四日曜日に
祈りの会を開くことになった。
この二月第一一〇回目を迎え
た。現在二十五名の信徒は、大
方定年退職を経た人々で共に集
い、毎度ロザリオの祈り一環を
唱え、病者の祈りや各人の洗礼
を称える日を祝っています。

天国に召された兄弟信徒に
は、適時追悼ミサを献げ、司祭
の手を通して聖霊のお恵みに授
かっております。

二月二十七日の例会は、発足
十周年に当たり、ボクダン主任
司祭と話し合い、会食して楽し
いひと時を過ごした。

「しぼくかい」は、司牧又は
親睦の会と語呂を合わせ、主の
教えを柔和に広める狙いもある
と思えます。

毎月第四木曜日午前十時に開
く四木会、コーヒーを飲みなが
ら、高齢者の交わりの場とし
て、どうぞお気軽にお出かけ下
さいますように。どうぞお待ち
しております。

(世話人一同)

フィリピン台風災害復興支援活動のご協力に感謝!

非常に多くの手作りの品物が寄付されたうえ
で、多くの方々がそれを買ってくださったおかげ
で、最終的に214,800円の資金を集めることがで
きました。様々な仕方で、ご協力してくださった
皆さんに、心から感謝いたします。

集めた支援金をカリタスジャパンを通じて、被
災地にスタッフを派遣し、緊急救援を行っている
カリタスフィリピンにお送りいたしました。本当
にありがとうございます。



南山句会

平成二十六年二月五日



床の間のごぼることなし実千両

読み初めのカインの譬へヨハネの書

納骨堂ピエタ像あり春時雨

初子の掌立春の空つかむかに

雛飾る一会のありて楽しき日

納骨を終えし夕べの水仙花

如月や松竹梅の飾りなほ

お水取りはるばる来たる二月堂

尖塔の十字架冬日欲しいまま

波璃の越し冬陽穏やか老いも良し

とく子

義子

聖子

豊子

牧子

せつ子

美智子

眞喜子

紀子

瑞子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集會室

信者の消息

帰天

ご冥福をお祈りします

ヨセフ 久野 高義 (89歳)
 マリア 水野 とみ (96歳)
 ガブリエル 小林 章雄 (39歳)
 マリア・エリザベト 松本 紀元子 (87歳)
 ヨハネ・アルベルト 榊 米一郎 (100歳)
 ベルナルト・ヨハネス 成田 興史 (71歳)

教会維持費

2月は855,000円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

土曜日の主日ミサ時間変更のお知らせ

現在、土曜日午後2時30分から行われる主日のミサは、2014年4月5日より
午後5時から行います。なお、土曜日の聖体礼拝は、ミサの直後、
 大聖堂で行います。どうぞ、よろしくお願ひします。

2014年3月・4月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	聖ヨセフの月 5(水)灰の水曜日(大斎小斎) 9(日)四旬節第一主日 19(水)聖ヨセフ	9(日)洗礼志願式 16(日)子どものミサ 29(土)30(日)四旬節の黙想会 共同回心式	2(日)運営委員会 9(日)典礼委員会 9(日)ヨセフ会班長会 14(金)マリア会例会(懇談会) 15(土)10:30子ども部屋 22(土)要約筆記付きミサ 23(日)教会学校・中高生卒業式	5(水)四旬節愛の献金(四旬節中) 7(金)世界祈禱日 15(土)司祭叙階式(神言会) 29(木)教区評議会
4月	13(日)受難の主日 17(木)聖木曜日(主の晩餐) 18(金)聖金曜日(主の受難・大斎小斎) 19(土)聖土曜日 20(日)復活の主日 27(日)神のいつくしみの主日	19(土)19:00復活の徹夜祭・洗礼式 20(日)日英合同ミサ (9:30)復活祭パーティ	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)11:00 運営委員会 6(日)教会学校・初聖体説明会 6(日)中高生会始業式 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会全体集會 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ	27(日)信徒協献金 29(金)宣司評総会